

# 帆柱ケーブル株式会社

## I 法人の概要（平成 24 年 4 月 1 日現在）

### 1 所在地

北九州市八幡東区大字尾倉 1481 番地の 1

### 2 設立年月日

昭和 32 年 3 月 1 日

### 3 代表者

代表取締役社長 内田 健一

### 4 資本金

10,000 千円

### 5 北九州市の出資金

10,000 千円（出資の割合 100.0%）

### 6 役職員数

- ・ 役員数 12 人
  - うち常勤 2 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）
  - うち非常勤 10 人
- ・ 職員数 8 人（うち北九州市からの派遣職員 0 人）

## II 平成 23 年度事業実績

### 1 営業の概況

#### (1) 営業の経過及び成果

当社は、皿倉山において鋼索鉄道（ケーブル）を主たる事業として営むとともに、市が整備した皿倉山スロープカーの貸付を受け、平成19年末から運行している。あわせて皿倉山頂展望台の管理運營業務を市から受託している。

平成 23 年度は、ホテルへの優待券配布、福祉施設団体・保育所等に対する無料送迎サービス、旅行社等への売り込み・連携、夏のビヤガーデンを始め四季折々のイベントの実施及びマスコミ・雑誌等への積極的なPR活動を行う中で、集客対策に努め、皿倉山の賑わいを創出した。

#### ア 輸送人員

皿倉山スロープカー・皿倉山頂展望台の開業ブームが去った後の構造的減少に加え、雪によるそり遊び客等が減少した半面、夏のビヤガーデン客が前年度の 5 倍以上となり、また、地元ホテルとのタイアップ等による大型団体ツアーや工場夜景ツアー、夏休みの営業時間の延長等による増加要因もあり、帆柱ケーブルカーは前期比 2.7%減の 177,627 人、皿倉山スロープカーは前期比 0.7%増の 150,066 人となった。

#### イ 営業損益

営業収益は、帆柱ケーブルカー利用者はやや減少したものの、皿倉山スロープカーの割引廃止等により 1 億 1,699 万円（前期比 153 万円増）となった。

営業費は、コスト縮減に努め1億476万円（前期比2,095万円減）となり、当期の営業損益は、1,223万円（前期比2,248万円増）の黒字に転じ、大幅に改善された。

ウ 経常損益

上記営業損益に営業外損益を加えた当期の経常損益は、1,370万円（前期比2,277万円増）の黒字に転じ、大幅に改善された。

エ 当期純損益

上記経常損益に特別損益及び法人税等を差し引いた当期純損益は、北九州市からの補助金の廃止及び上下分離に伴う同市への固定資産・貯蔵品の無償譲渡による減損損失等（7,693万円）により、▲6,307万円となった。なお、減損損失による会社への資金上の影響は発生しない。

### Ⅲ 平成23年度決算

#### 1 貸借対照表

平成24年3月31日現在（単位：円）

| 科 目        | 金 額        | 科 目           | 金 額          |
|------------|------------|---------------|--------------|
| (資産の部)     |            | (負債の部)        |              |
| 流動資産       | 55,568,990 | 流動負債          | 29,347,388   |
| 現金及び預金     | 43,270,254 | 買掛金           | 2,700        |
| 未収運賃       | 105,200    | 仮受金           | 9,585        |
| 未収入金       | 3,473,102  | リース債務         | 1,459,830    |
| 商 品        | 1,195,374  | 1年内返済予定の長期借入金 | 6,324,493    |
| 貯 蔵 品      | 7,467,681  | 未払金           | 18,844,760   |
| 立 替 金      | 57,379     | 未払法人税等        | 208,500      |
|            |            | 未払消費税等        | 1,786,200    |
|            |            | 預り金           | 167,320      |
|            |            | 賞与引当金         | 544,000      |
| 固定資産       | 18,630,478 | 固定負債          | 90,046,694   |
| 鋼索鉄道事業固定資産 | 784,840    | 長期借入金         | 88,124,501   |
| その他事業固定資産  | 2,783,058  | リース債務         | 1,569,693    |
| 投資その他の資産   | 15,062,580 | 退職給付引当金       | 352,500      |
| 出 資 金      | 10,000     | 負債合計          | 119,394,082  |
| 長期前払費用     | 52,580     | (純資産の部)       |              |
| 長期預金       | 15,000,000 | 株主資本          | ▲ 45,194,614 |
|            |            | 資本金           | 10,000,000   |
|            |            | 資本剰余金         | 7,879,503    |
|            |            | その他資本剰余金      | 7,879,503    |
|            |            | 利益剰余金         | ▲ 63,074,117 |
|            |            | その他利益剰余金      | ▲ 63,074,117 |
|            |            | 繰越利益剰余金       | ▲ 63,074,117 |
|            |            | 純資産合計         | ▲ 45,194,614 |
| 資産合計       | 74,199,468 | 負債・純資産合計      | 74,199,468   |

2 損益計算書

自 平成23年 4月 1日

至 平成24年 3月31日 (単位：円)

| 科 目                     | 金 額        | 金 額        |
|-------------------------|------------|------------|
| 鋼 索 鉄 道 事 業             |            |            |
| 営 業 収 益                 | 76,083,091 |            |
| 営 業 費                   | 84,937,998 |            |
| 営 業 損 失                 |            | 8,854,907  |
| そ の 他 事 業               |            |            |
| 営 業 収 益                 | 40,909,431 |            |
| 営 業 費                   | 19,820,843 |            |
| 営 業 利 益                 |            | 21,088,588 |
| 全 事 業 営 業 利 益           |            | 12,233,681 |
| 営 業 外 収 益               |            | 1,884,190  |
| 受 取 利 息 及 び 配 当 金       | 400        |            |
| 雑 収 入                   | 1,883,790  |            |
| 営 業 外 費 用               |            | 417,041    |
| 支 払 利 息                 | 414,579    |            |
| 雑 支 出                   | 2,462      |            |
| 経 常 利 益                 |            | 13,700,830 |
| 特 別 利 益                 |            | 359,982    |
| 固 定 資 産 売 却 益           | 359,982    |            |
| 特 別 損 失                 |            | 76,926,429 |
| 減 損 損 失                 | 53,543,461 |            |
| 貯 蔵 品 評 価 損             | 23,382,930 |            |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 38         |            |
| 税 引 前 当 期 純 損 失         |            | 62,865,617 |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 |            | 208,500    |
| 当 期 純 損 失               |            | 63,074,117 |

## IV 平成24年度事業計画

当社は平成 22 年度より「経営改善計画」に基づき、配置人員・組織・保守管理委託等の見直しや減資によるコスト縮減、営業強化による収益の向上等に取り組み、平成 22 年度は純損益が黒字に転じ、当期には営業損益及び経常損益ともに黒字に転じ、当初予測していた平成 23 年度の資金ショートという最悪の事態は回避することができた。

また、平成 23 年度に実施した減資により、16 億円を超える累積損失を一掃した。

しかしながら、当事業年度において、新たに上下分離を前提とした鋼索鉄道事業の資産に対する減損処理を実施したことにより債務超過となっており、かつ北九州市より借入金の元本返済の猶予を受けているため、依然として継続企業の前提に関する重要な疑義が存在している。

これらの課題について、債務超過については、今後、営業損益及び経常損益ともに平成 23 年度を上回る黒字基調となることが予測され、早期に解消されるものと思われる。

また、北九州市からの借入金については、平成 24 年度から返済を開始する。

平成 24 年度は、株主である北九州市からの支援のもと、上下分離を実施するとともに、経営改革を推し進め、経営の改善・安定化、良質なサービスの提供、皿倉山の観光振興等の経営目標の達成を目指すため、以下の項目について重点的に取り組む。また、帆柱ケーブルカー及び皿倉山スロープカーの運行にあたっては、安全性を第一に、利用者サービスの向上を図る。

### 1 「経営改善計画」の推進と組織風土の改善

経営改善計画に基づき、設備の保守・再投資負担の軽減のための上下分離、効率的・適正な運行体制の確立等中長期的視点に立った抜本的な経営建て直し計画を進める。

また、「管理」から「お客様本位」「経営」への意識改革を図るため、お客様ご意見箱、従業員提案制度、勤務評定制度等による自律的改善と風通しの良い職場づくりを推進する。

### 2 安全運行遵守

「24 年度無事故達成」をスローガンに、①安全意識醸成と日常的な現場巡視による実情の把握と業務マニュアルの実践・遵守の徹底、②車両、運転施設の徹底的な点検、整備の実践、③同種事業や関連会社との情報交換会などの研修を通じてスキルアップを図る。

### 3 コスト縮減

自動券売機の導入や常勤職員から出向者への振り替え配置を行うとともに、前年度に引き続き、繁忙期・閑散期を通じて運行体制の効率的かつ適正な見直しを行い、雇用・配置人員の削減、保守管理等委託契約の見直しやイベントの効率的執行と費用対効果の改善等、徹底的なコスト縮減に努める。

### 4 増客、増収対策

#### (1) イベント等企画事業

皿倉山の知名度の向上と環境学習・レジャースポットとしての定着を目指し、皿倉山の特性・優位性（夏は涼しい、景色、夜景、四季の変化）を活かすとともに、イベントを体系的・

連続して実施することにより認知度の向上と費用対効果の改善を図る。

昨年マスコミにも大きく取り上げられ好評だった「星空ビヤガーデン」や「森のがっこう」「観望会」「サタデーナイト連続ライブ」「アマチュアバンド大集合」「仲秋の名月鑑賞会」「クリスマスライブ」「バレンタイン大作戦」等好評のイベントを前年度に引き続き実施するほか、新たに新企画のイベントを実施する。

また、イベントの実施にあたっては市・区役所及び帆柱自然公園愛護会、地域団体等との連携をより深めていくこととする。

## (2) 集客・広報の取り組み

無料送迎サービスの対象を全ての団体に拡大するとともに、県内小学校を対象に遠足・社会見学先として誘致する。また、ホテルとの連携により宿泊パック商品の普及を促進する。さらに福岡市へのPRの強化、韓国等外国人客の取り込みのためにフェリー会社との連携を図る。

ダイレクトメール、CATVの番組CM提供、新聞・テレビ・情報誌・市広報紙のほか、ラジオ、インターネット等各種メディアへのイベント・営業情報等タイムリーで積極的なPRを行うとともに、県内及び九州・山口各県のJR主要駅へのポスター掲示や街頭宣伝を実施する。

## (3) 営業時間の延長

夜景人気やレジャー活動の深夜化等に対応し、引き続き夏休み期間中の営業時間を延長するとともに、新たに4～10月の土・日・祝日に拡大し、利用客の増加を図る。

## 5 乗客サービス向上

お客様ご意見箱の設置をはじめ、イベントの際のアンケート等により、顧客ニーズを的確に把握しサービスに反映するとともに、従業員全員による「笑顔で心からのおもてなし実践」を日常業務や接遇研修の中で指導徹底する。

## V 平成 24 年度予算

### 1 予定損益計算書

自 平成24年 4月 1日

至 平成25年 3月31日 (単位：千円)

| 科 目                              | 金 額           |
|----------------------------------|---------------|
| <b>鋼 索 鉄 道 事 業</b>               |               |
| 営 業 収 益                          | 76,307        |
| 営 業 費 用                          | 76,137        |
| 営 業 利 益 ( ▲ 損 失 )                | 170           |
| <b>そ の 他 事 業</b>                 |               |
| 営 業 収 益                          | 39,301        |
| 営 業 費 用                          | 21,472        |
| 営 業 利 益 ( ▲ 損 失 )                | 17,829        |
| <b>全 事 業 営 業 利 益 ( ▲ 損 失 )</b>   | <b>17,999</b> |
| 営 業 外 収 益                        | 1,633         |
| 営 業 外 費 用                        | 455           |
| <b>経 常 利 益 ( ▲ 損 失 )</b>         | <b>19,177</b> |
| 特 別 利 益                          | 0             |
| 特 別 損 失                          | 0             |
| <b>税 引 前 当 期 純 利 益 ( ▲ 損 失 )</b> | <b>19,177</b> |
| 法人税、住民税及び事業税                     | 81            |
| <b>税 引 後 当 期 純 利 益 ( ▲ 損 失 )</b> | <b>19,096</b> |

## VI 役員名簿

平成 24 年 7 月 1 日現在

| 役職名     | 氏名     | 備考            |
|---------|--------|---------------|
| 代表取締役社長 | 内田 健一  |               |
| 専務取締役   | 欠員     |               |
| 取締役     | 古賀 敬三  | 北九州市総務企画局長    |
| 〃       | 伊藤 正志  | 北九州市財政局長      |
| 〃       | 垣迫 裕俊  | 北九州市保健福祉局長    |
| 〃       | 石松 秀喜  | 北九州市産業経済局長    |
| 〃       | 藤澤 常憲  | 北九州市建設局長      |
| 〃       | 稲富 裕子  | 北九州市八幡東区長     |
| 〃       | 秦 勝則   | 北九州市八幡西区長     |
| 〃       | 柏木 修   | 北九州市教育長       |
| 監査役     | 奥 鶴雄   | 公認会計士         |
| 〃       | 佐々木 正明 | 北九州市産業経済局観光部長 |